

事務事業名		清掃推進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																					
政策体系	政策名	0 6 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目																					
	施策名	1 9 生活環境の保全		区分		会計	款 項 目 事業																				
	基本事業名	0 2 環境に配慮した生活の推進		単年度繰返		01	04 02 01 0100																				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大船渡市廃棄物の処理及び清掃に関する規則		※期間欄に開始年度を記入																							
所属	部課名	市民生活部市民環境課		【開始年度】		事務事業区分																					
	課長名	鈴木 康代		昭和45 年度～		E 一般																					
	係名	環境衛生係	電話	0192-27-3111																							
	担当者	牧野 瞳	内線	125																							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
<p>6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施を呼びかけ、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図る。</p> <p>市では、道路側溝から引き上げられた汚泥の一時仮置場を確保すると共に、土木業者等に依頼して汚泥運搬車両を各地域に配車している。また、独自で車両を用意した地域に対しても、1台分を限度として1台当たり2,000円を車両借り上げ料として補助している。</p> <p>主な業務は、①企画、日程調整、汚泥の一時仮置場の確保、②車両の借り上げ、手配、③開催案内の通知、④当日の配車、対応、⑤報告書のとりまとめ、⑥特殊車両等の借り上げ料の支払い、⑦汚泥処理依頼先との調整、汚泥の処理。</p> <p>事業費の主なもの、車両借上料、汚泥処理委託料など。</p>						<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
国庫支出金																											
都道府県支出金																											
地方債																											
その他																											
一般財源																											
事業費計(A)	0																										
正規職員従事人数																											
延べ業務時間																											
人件費計(B)	0																										
トータルコスト(A)+(B)	0																										

1 現状把握の部(DO)		
(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称 単位	
市民総参加のもと、6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施により、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図った。	ア	市の車両借上台数 台
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	地域での車両借上台数 台
前年度と同じ	ウ	実施日数 日
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民生活環境	名称 単位	
	カ	地域公民館数 館
	キ	人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
清掃活動の実施により、生活環境が清潔に保たれる。地域環境保全について市民意識が高まる。	名称 単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ	清掃活動参加数 人
公共空間の衛生が保たれ、生活環境保全に貢献する。	シ	市内の清掃活動実施地域の割合 %
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	単位							
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,495	1,331	1,207	1,571	1,495	1,495	
	事業費計(A)	千円	1,495	1,331	1,207	1,571	1,495	1,495	
	人件費	正規職員従事人数	人	17	13	10	13	13	13
		延べ業務時間	時間	560	560	560	560	560	560
		人件費計(B)	千円	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,735	3,571	3,447	3,811	3,735	3,735	
⑤活動指標	ア	台	23	23	23	23	23	23	
	イ	台	3	4	9	4	4	4	
	ウ	日	1	1	1	1	1	1	
⑥対象指標	カ	館	129	129	129	129	129	129	
	キ	人	34,796	33,948	33,238	31,369	31,369	31,369	
	ク								
⑦成果指標	サ	人	7,504	7,775	7,289	7,775	7,775	7,775	
	シ	%	100	100	100	100	100	100	
	ス								

事務事業ID	0083	事務事業名	清掃推進事業
--------	------	-------	--------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
市民総参加による市内の清掃活動を実施することにより、快適で住みよい生活環境を保持し、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を図るため、昭和45年度から開始。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
・清掃活動開始当初は、側溝の汚泥上げ、草刈りのほか、薬剤散布等も実施していたが、現在は、衛生状態等の生活環境の向上により、薬剤散布を行う地域は減少してきている。  
・条例で年2回の実施とされている市内一斉清掃のうち、秋は市民運動推進協議会が担当していたが、組織改変により市民環境課において実施(秋は「グリーン作戦」としてゴミ袋を配付し、活動方法は各地区公民館に一任)することになった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
・参加者の高齢化により作業の縮小を余儀なくされているので、若者の参加促進が要望されている。  
・一部の地域から泥上げできなかつた箇所や草刈をして欲しい場所への対応を要望されている。  
・業者よりトラックの配車に係る借上料の増額を要望されている。(現行:2tトラック:8,500円/台、4tトラック:13,000円/台)

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	事業の実施により、生活環境の保持のほか、市民意識の高揚も図られるため、自発的な環境保全活動につながり、環境に配慮した生活の推進に結び付く。	
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容
なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市が関与しなければ、汚泥や草等の廃棄物の処理が困難なため。		
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	市民意識が高まることで、清掃活動への参加が促され、清掃活動を実施することで生活環境が清潔に保たれる。	
	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容
成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	一斉清掃への市民総参加を呼びかけて実施しているが、参加者が高齢化しつつあるため、幅広い世代の参加を促し、事業を継続実施させていく。また、地域だけではなく事業者等の参加を促し、参加者を増加させることで事業の成果を向上させる余地がある。		
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	事業を廃止した場合、生活環境の清掃活動については地域や住民個々の自主性に頼らざるを得なくなる。住民の協力が得られなくなることで、汚泥の処理や草刈りがされず、生活環境が清潔に保てなくなることが懸念される。	
	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容
成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費の大半が廃棄物処理に係る費用であり、適正に廃棄物を処理する上で、必要最低限の費用で事業を実施している状況である。		
公平性 評価	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	人件費等の効率化を図るため、住民や地元土木業者にも協力を要請している。また、令和3年度以降は職員の体制を見直し、必要最低限の人数で対応した。	
⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容	
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	市内全域を対象とした事業のため、特定の受益者負担は無く、事業費は全て一般財源である。		

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×	人口減少と参加者の高齢化により作業が縮小しつつあることから、幅広い世代の参加を促す働きかけが必要である。本事業に限定したのではなく、地域コミュニティの形成という観点からも対策が必要。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	●																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	市民ぐるみで取り組む清掃活動を継続実施していくために、幅広い世代(小・中・高校生も含む)の参加を促す工夫を行いながら、継続して事業を実施する。